

## 2020 年度 川崎医学会総会議事録

2020 年 8 月 1 日

日時：2020 年 8 月 1 日 12:00～12:40

場所：現代医学教育博物館 2 階大講堂

### 1. 人事（大槻運営委員長）

以下の人事が報告された。また、医大を定年退任後、学園内他施設へ異動された場合は名誉会員に就任して頂くことが提案され、承認された。

**運営委員会・庶務【退任】**：植村貞繁先生

**名誉会員【就任】**：植村貞繁先生、大山文男先生、五藤恵次先生、佐々木和信先生、長谷川 徹先生、平井敏弘先生、虫明 基先生、渡辺洋子先生

**学内評議員【就任】**：梅垣英次先生、神崎 晋先生、白神史雄先生、曹 英樹先生、田中克浩先生、中島一毅先生、西松伸一郎先生、宮地禎幸先生、森本直樹先生、吉田浩司先生、吉田英生先生、Janjua Najma 先生

**学内評議員【退任】**：植村貞繁先生、荻野隆光先生、加来浩平先生、片山 浩先生、五藤恵次先生、園尾博司先生、長谷川健二郎先生、長谷川 徹先生、藤田喜久先生

**学外評議員【就任】**：園尾博司先生、椿原彰夫先生、猶本良夫先生

**学外評議員【退任】**：佐々木和信先生

**機関誌編集委員会・編集副委員長【交代】**：岡本安雄先生 ⇒ 塩谷昭子先生

**機関誌編集委員会・編集委員【退任】**：塩谷昭子先生

### 2. 機関誌編集委員会（大槻運営委員長）

（1）2019 年度秋季編集委員会（メール会議）

日時：2019 年 10 月 23 日

機関誌発刊状況、刊行状況の評価、及び医学会 WEB サイトでの査読者の掲載について議論されたことが報告された。

（2）2020 年春季編集委員会

日時：2020 年 3 月 5 日 14:00～

場所：6 階カンファレンス室 1

医学会誌論文賞、及び刊行状況等について議論されたことが報告された。

### 3. 機関誌刊行状況（大槻編集委員長）

刊行状況について以下のように報告された。2019 年度は川崎医学会誌（和文誌）に 21 本、Kawasaki Medical Journal（英文誌）に 12 本、一般教養篇に 8 本の論文が刊行された。2020 年度は現在のところ、川崎医学会誌に 7 本、Kawasaki Medical Journal に 13 本の論文が査読中を含めて投稿されている。また、2019 年度より、発刊回数を年間 2 回から 1 回に減らしている。

### 4. 川崎医学会講演会（長洲委員）

（1）2019 年度実施状況

計 27 回の講演会（学外講演者 22 回、学内講演者 5 回【全て新任教授講演会】）が行われたことが報告された。

（2）2020 年度実施状況及び予定

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2020 年度は現時点で一度も開催されておらず、今後の開催予定も未定であることが報告された。

### 5. 川崎医学会賞（大槻運営委員長）

**【研究奨励賞】** 大学・研究委員会より

長洲晶子先生（リウマチ・膠原病学）

*Sh3bp2* Gain-Of-Function Mutation Ameliorates Lupus Phenotypes in B6.MRL-*Fas*<sup>lpr</sup> Mice.

*Cells*. 8(5):402, 2019. doi: 10.3390/cells8050402.

**【医学会誌論文賞】** 医学会・編集委員会より

八十川直哉先生（呼吸器内科学）

サルコイドーシスの診断における超音波気管支内視鏡ガイド下経気管支針生検（EBUS-TBNA）の有用性

川崎医学会誌 45：95-100, 2019 doi：10.11482/KMJ-J201945095

山岸智子先生（元 総合内科学 4 大学院生）

A new signal transducer and activator of transcription 3 inhibitor, BBI608, in malignant mesothelioma cell lines.

上記受賞者3名は、本日開催の学術集会において、受賞講演・授賞式を行う予定であったが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で学術集会が縮小開催となった為、産休中の山岸智子先生を除く2名について、学長室にて授賞式のみを既に行い、その様子を川崎医学会ホームページ上で公開していることが報告された。

## **6. 会計**（大槻運営委員長、松田監事）

### （1）2019年度決算案

2019年度決算について説明され、会計監査で適正と判断されたことが報告され、承認された。

2015年度以降、特別会計を切り崩す形で一般会計への繰り入れを行ってきたが、本年度は特別会計の残高は前年度と同じく約2,000万円となった。

### （2）2020年度予算案

新型コロナウイルス感染状況により、医学会講演会の開催状況の見通しが立たず、予測が難しい状況であるが、概ね例年通りの予算案を組むことが提案され、承認された。

特別会計の約2,000万円について、管理運営の利便性を考慮し、現状の野村証券の公社債投信から中国銀行の定期預金に移行することが提案され、承認された。

## **7. その他**（大槻運営委員長）

新任教授の講演会について、現在は教授会・大学院医学研究科委員会の終了後に適宜開催しているが、今後は録画したものをYouTubeによりオンライン配信する形に移行することが提案され、承認された。